

# 平成22年度 NPO協働事業 キャンプ実行委員会記録 第1回目

日時 平成22年 7月23日(木) 13:00~17:00  
 場所 小嶺児童館 学童室(プログラム①②) 事務室(プログラム③)  
 参加者 キッズワーク 大久保さん(プログラム進行) 鶴野さん(記録) ふくおかNPOセンター古賀さん  
 小嶺児童館 加来館長 角園 長谷川(児童と共にゲームに参加)  
 中学生2名・・・(桑原 佐藤秀哉)  
 小学生10名・・・6年生3名(神園 小森 松本) 5年生2名(野崎 佐藤慧)  
 4年生5名(村田 倉重 佐藤光莉 渡辺 石谷)

13:00 スタッフ打ち合わせ・・・プログラム内容確認 ”みんなですればできる”体験をする

時間	プログラム内容・実際の様子など	大久保さんからの声かけ
13:30	<p><b>プログラム①自己紹介</b>(2人組の相手のことをみんなに紹介する。)                      (2人組作り・全員で誕生日順に並び、端から2人組になる。)                      ●自己紹介30秒、インタビュー2分行き、交代し、同じく自己紹介とインタビューを行う                      ●自分とペアの相手のことを、全員に対して紹介する。(全員)</p>	
14:15	<p><b>プログラム②ひもゲーム</b>(腰の高さ位に張ったひもを、全員で手をつないだまま越える)                      ●<u>決まり</u>・手を離さない・ひもに触らない・制限時間(20分)</p> <p>意見が出てくるがなかなか実行に至らず、数回の試みで制限時間となる。                      →再度挑戦を決定(多数決で意思確認する児童が出て、決定)                      5分の延長内に同じ試みを繰り返し、失敗のまま制限時間となる。                      →再度挑戦を決定(多数決で意思確認する児童が出て、決定)                      10分の延長内、声の掛け合いが盛んになり、人の意見を取り入れ実行し、ほぼ成功。</p> <p><b>振り返り</b> ・どんな意見が問題を解決するきっかけになったか                      ・いい意見を出してくれた人                      ・誰がルールを守ろうとしたか                      ・一番難しかったこと                      ・思ったこと</p> <p>工夫したことを発表する中で、その意見を誰が発したかを確認して                      最後はみんなが一つになれた気がするという感想も有。</p>	<p>思ったことを言う                      試してみること                      全員の意思確認をすること                      話し合うこと</p> <p>あきらめない大切さ                      ⇒ 思ったことを口に出す                      仲間の誰かが見ている                      (行動、つぶやいたこと)</p>
15:15	<p><b>プログラム③月に迷ったゲーム</b>(月に不時着、15品の物品の優先順位を付ける)                      ●自分一人だけで優先順位を付ける。(約10分間)                      ●チーム全員の意見を合わせて順位付ける。                      (進行、書記、ともに立候補者あり。児童の意見でじゃんけんにて決定)                      →進行(中2)により、多数決で話が進められていく。                      アドバイスを受け、少数意見を聞くが、なかなか討論には発展しない。                      →大久保さんの進行に変更(進行、書記の児童も意見を発する側に)                      自分の意見を主張する事、他の意見を聞いて納得する、反論する事、等を経験                      少数意見として答えを発するが、理由等の説明までは言い切れない児童もいる                      意見をチームで一つにする事に時間はかかるが、15品最後まで決めきる。                      ●失点(NASAの順位の数字との差)を出す。                      自分一人で行った順位の失点と、チーム全員で決めた順位の失点の差を出す。</p>	<p>多数決のマイナス面について                      その品を選んだ理由を尋ねる                      討論点の整理をする                      時間の経過を知らせる                      有効な多数決の場面を教える</p>
17:00	<p><b>振り返り</b> ・失点の差を見て                      みんなで決めた事で、一人よりも良い結果が出た。</p>	<p>これから計画するキャンプも                      ⇒ 同じことが言える。                      人の意見にも新たな発見有り</p>

所見・・・時間はかかったものの、”みんなですればできる”、”みんなで考えたらより良くなった”体験ができた。  
 活発な議論にはなかなか至らないものの、人が自分の意見を聞いてくれる事や、人と違う意見を主張する事を体験しながら、一体にまとまっていく最後まで、投げださずにあきらめない児童の姿に感心させられた。

**次会(8/4)までの宿題** テーマ 地域を使ってみんなで楽しく過ごす1泊2日  
 宿題 地域の面白いと思うところ、変だなと思うところを紹介する